



事業実績報告書

様式 2
(2019年度)

| | | | |
|---|------|---|-------------------------------------|
| 講座番号 | C-16 | 講座名 | 発見！体験！地球市民キャンパス ～わたしの暮らし、みんなの未来～ |
| 記載日 | | 団体名・企業名 | (公財)名古屋国際センター |
| 〈講座全体の概要〉(300字程度) | | | |
| <p>令和元年7月30日(火) 13時00分～17時00分実施</p> <p>1. 異文化理解コースを体験しよう：NIC地球市民教室「異文化理解コース」体験。フィリピン人講師の母国文化紹介など。</p> <p>2. チャレンジコースにチャレンジ！：2つの分科会に分かれ、「チャレンジコース」に参加。</p> <p>①「多文化共生」：在住外国人の現状や苦労などについて講師の話、アクティビティを通じて知り、体験をし、考えた。</p> <p>②「フェアトレード」：貧困や児童労働、紛争など地球の課題について知り、考え、その解決方法の1つであるフェアトレードについて学んだ。</p> <p>3. ふり回り(全体会)：各分科会で得た学びを全体で共有し、自分たちの暮らしに身近な課題のために「自分にできること」「誰かと一緒にできること」「誰かに任せること／任せるために自分がすること」を考え、発表した。</p> <p>4. 地球市民教室質問タイム：教育関係者向けにNIC地球市民教室の利用方法を説明し、質問を受け付けた。</p> | | | |
|  | |  | |
| 「異文化理解コース」外国人講師の母国について学んだ。 | | 「チャレンジコース」ワークショップの様子。 | |
| 〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度) | | | |
| <p>多様な参加者とともに地球の課題、地域の課題について考える機会を提供することができ、また当センターのNIC地球市民教室事業についてより参加者(特に教育関係者)に知っていただく機会となった。アンケートでは学生、教育関係者ともイベントに参加し易い時期として夏休み期間中を挙げている者が多い一方で、実際に夏休みに開催したが前年に比べ参加者が少なく、特に学生や学生の保護者からは開催前の問合せで「参加したいが／子どもに参加させたいが、部活／補講があるので参加できない／させられない」という声が数件あったので、次年度の開催については開催時期を再考したい。</p> | | | |
| 〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3～5点、計350字程度) | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 沢山の新しい考えに出会えた。(高校生) ・ グループワークが楽しかった。(高校生) ・ 初めてこのような意見を交換できる場に参加し、いろんな話ができてよかった。(一般) ・ 中学で習った以上にアフリカなどの子どもたちの深刻さが分かった。(高校生) ・ 当たり前のことも恵まれてることだということを、グループワークを通して考えることができた。(一般) | | | |

●団体紹介

| | | | |
|---|------------------------|--------|---|
| 団体所在地 | 〒450-0001 | | |
| | 愛知県名古屋市中村区那古野一丁目47番1号 | | |
| 連絡担当者 | 交流協力課 池田 昌代 | ウェブサイト | http://www.nic-nagoya.or.jp/ |
| TEL | 052-581-5689 | FAX | 052-581-5629 |
| E-mail | koryu@nic-nagoya.or.jp | 携帯電話 | |
| 〈団体・企業の簡単な紹介・PR〉(150文字程度) | | | |
| 地域の国際化を目的に設立。地域における多文化共生と地球市民意識の醸成、活動の促進のため様々な事業を行っている。 | | | |

●講座開催情報

| | | | | |
|-----|-----|-------|------|------|
| 第一回 | 講座名 | 同上 | | |
| | 講師名 | | 参加人数 | 31 名 |
| | 内容 | 概要に同じ | | |